

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	若葉保育園
日時	2026年1月16日・29日

1. 活動テーマ

<テーマ>

園庭の木を見てみよう

<テーマ設定理由>

・園庭の木を見たり触れたりして見つけた「ふしぎ」「ちがい」を言葉にし、友だちに伝えたり聞いたりしながら気づきを広げていく。

2. 活動スケジュール

・園庭にある木を見たり、触ったりしながら観察してみる。
 ・観察していく中で、葉っぱのある木と葉っぱのない木があることに気が付き、自分の意見を発表する。

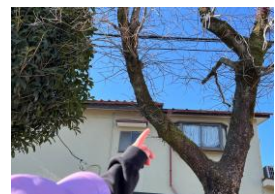
3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・園庭で4歳児クラスのための活動とし、じっくりと観察ができるようにした。

<活動内容>

・春から継続して見てきた園庭の木を観察し、季節による変化を見つける。葉っぱがたくさん残っている木と、葉っぱが落ちて枝だけになっている木があることに気づき、子ども同士で「どこが違う?」「何が変わった?」と見比べながら確かめる。幹の色や手触り、枝先の様子、地面の落ち葉の量などにも目を向け、気付いた言葉を記録する。
 ・その後、「どうして葉っぱが、ない木があるのだろう」「葉っぱはどこへ行ったのだろう」と問い、子ども一人ひとりの予想を聞く。すぐに答えを決めず、「落ち葉が多いのはどっち?」「風の日には揺れ方が違う?」など、木のそばで、自分の予想と見たことをつなげて考える体験を行う。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り>



・園庭にある葉っぱのある木とない木を探してみた。園庭の端にある葉っぱのある木を見つけると嬉しそうに「ここにもある」と教えてくれた。

・葉っぱのある木が8本、ない木が2本あることに気が付いた。

・葉っぱのない木を見ながら、「何でこの木は葉っぱがないの?」と聞いてみた。

・「葉っぱは風で飛んでったんだよ」「この葉っぱは堅いから飛ばないんだよ」

・「強い木は、葉っぱが落ちないんだよ」「押して揺れる木は葉っぱが落ちるんだよ」と木に体を押し当て木をゆずっている子もいた。

・「硬くて重い葉っぱは飛ばないんだよ」

・「つるつるの葉っぱは風で飛ばないけど、カサカサの薄い葉っぱは飛ぶんだよ」などいろいろな子ども達の意見が聞けた。

・「わからない」と言う子も数人いたが、自分の意見をしっかり言葉にして教えてくれる子が多かった。

5. 振り返り<振り返りによって得た先生の気づき>

・今回は、園庭の木に「葉っぱがある木とない木がある」という子どもの気付きから、「何で葉っぱがないの?」という問いが生まれ、探究が始まりました。子どもたちはそれぞれに理由を考え、自分の経験と結びつけながら意見を出す姿が見られ、発想の豊かさに感心する場面が多くありました。保育者としても、子どもたちの言葉を通して「気付きが問いになり、考えにつながっていく」過程を実感できた活動でした。

・春夏秋冬を通して桜の木を見てきた経験があったからこそ、日々の変化や葉っぱの様子について、もっ少しこまめに問いかけたり、子ども自身の言葉で確かめたりする時間を積み重ねていけば、季節の移り変わりや木の変化がよりつながり、桜の木への親しみや“自分の考えをもつ面白さ”がさらに深まったように感じました。桜の木はいつも園庭にあり、子どもたちは蜜を探したり虫を見つけたり、穴の中をのぞいたりして自然に触れていましたが、その日常の関わりを「今日の桜はどう?」という言葉で意識化することで、発見を共有する機会を増やせたと振り返ることができました。

・これからは「春になったら桜はどうなるかな?」という見通しをもって、芽や枝先、花や葉の変化を継続して見ていきたいです。子どもたちの予想やつぶやきを大切に受け止め、実際の変化と照らし合わせながら確かめる経験を重ねることで、身近な自然への関心と探究する力を育てていきたいです。